

(6) こころの教育、体験・学習機会の充実

～ハートが育ついろんな学び～

現状・課題

●全国的に都市化や少子化が進む中、子どもが大勢で遊び、友人と語り合い、他人と協力し合うといった社会性やコミュニケーション力を身に付ける機会が減っており、地域社会において育むべき社会性などが育ちにくくなっています。また、地域や家庭、社会環境が変化するにつれて、多様な人間関係の中で育つ体験が少なくなっています。本市の現状を見ると、日頃から声かけなどの大人とのコミュニケーションがない子ども（小学生）が約2割、また異年齢の子どもと一緒に活動（遊び等）することがない割合が約2割いる状況です。（※）

●本市はこれまで学校教育の中で、校内・校外における体験活動の推進及びその成果を最大にするための学習の場を数多く設けてきました。また、青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動の推進や青少年施設などを活用した自然体験、スポーツ・文化・科学の体験事業など、多種多様な体験活動の機会を提供しています。

●幼児及び児童生徒に対して、科学の振興を図ることを目的として建設された児童文化科学館は、プラネタリウムのある施設として毎年10万人前後が利用しています。一方で、最も古い建物が建築後約50年経過するなど老朽化等の問題が深刻化しています。

●様々な他者と関わる「体験」から得られる「人と触れ合うことの楽しさ」や集団の一員として役割を果たすことの充実感。好奇心を刺激され、もっと学びたいと思う感覚。中でも「お世話する・される」という関係から得られる「自分が必要とされている」という感覚は、子どもの主体性を生み、積極的に他者や社会と関わろうという意欲、すなわち社会性の基礎を育むことにつながります。このような子どもの自己肯定感を育み、成長を促すための効果的な取り組みを実施していくことが必要です。

方向性

●子どもの社会性を育む重要な役割を担ってきた地域社会の代わりとなる場づくりや、子どもへの働きかけを行っていきます。

●老朽化した児童文化科学館は「東田地区」に移転新設し、移転後は「ものづくりのまち」に相応しい科学館として、北九州市の未来を担う人材を育成していくとともに、地元企業と連携を図りながら本市ならではの特色のある科学館として、さらなる賑わいを創出します。

●子どもが活動の中心（主体）となって、自ら課題や問題に取り組み、それらを達成・克服していく機会を数多く用意するとともに、子どもを温かく支え見守る「応援者」を増やす取り組みを進めます。

※北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

主な取り組み

①学校等におけるこころの教育の推進

教育活動全体を通じて、道徳教育の充実を図り、児童生徒の自尊感情や規範意識を向上させるとともに、豊かな体験活動を通じて、郷土への愛着を深め豊かな情操を養い、また、児童生徒が自他の心と体を大切にし、互いのよさを認め合える人権尊重の意識と実践力を養うような取り組みを進めます。

②体験活動等を通じた学びの機会の提供・充実

青少年が取り組むことができるさまざまな体験活動情報を、パンフレットやウェブサイト等により効果的に発信します。

また、子どもたちが地域の中で、自主的・主体的・継続的にさまざまな体験活動を行えるよう、活動をサポートする青年リーダーの育成を行います。

これらの取組みを通じて、より多くの青少年に体験活動の機会を提供することで青少年の健全育成を図ります。

■青少年施設〔青少年課〕

北九州市には1か所の児童文化施設と7か所の青少年施設があり、それぞれの施設が特色を生かした体験活動を実施しています。平成17年度からもじ少年自然の家、平成19年度から玄海青年の家、平成24年度からかぐめよし少年自然の家、平成28年度からユースステーションに指定管理者制度を導入し、民間事業者等の独自の創意工夫と効果的、効率的な運営により市民サービスの向上を図っています。

○児童文化科学館

児童文化科学館は、幼児及び児童生徒に対して、児童文化の向上及び科学教育の振興を図るため、科学教室などの体験を通じた科学事業など、児童文化関係団体と連携し、文化事業を実施しています。新科学館開館に伴い、令和3年12月に閉館しました。

◎施設概要・展示品

施設概要	プラネタリウム用ドーム室（270席）や、天体観測用20cmクーデ式屈折式望遠鏡、ヘリオスタート式太陽望遠鏡、展示室、集会室等の設備を有しています。
本館1階	主に物理分野、生物分野を対象。ボールのいろいろな動きや不思議な鏡など、物の動く仕組みや見え方をわかりやすく学ぶフロア。風速体験室「ウインドシミュレーター」など展示品22点、及び身近な生き物展示水槽。
本館2階	主に電気科学分野を対象。赤外線を避けながらトンネルを脱出する「ルパンウォーク」、さまざまな風力でボールの浮き上がり状況を体験する「エアテーブル」ほか、電磁気のはたらきを目でわかりやすく理解できる展示品など計20点。
天文館	宇宙や地球環境分野を対象。主にパネルや模型などで説明するほか、映像や可動展示品によって楽しく遊びながら学べる。日本最大級の「太陽系運行儀」など展示品27点。

◆利用状況

年度	利用者数
29	101,432人
30	94,263人
元	86,847人
2	27,602人
3	46,677人



○こども文化会館

こども文化会館は、児童文化の普及や創作活動を促進することによって、幼少年期の子どもの創造力や表現力を育み、人間性豊かな青少年を育成することともに、子育てについての支援を行うことを目的とした施設です。



◎施設概要

施設概要

よく目立つ黄色の建物が目印で、到津市民センターと併設。童話で表現したお話の庭や、素足で遊べるカーペット張りの館内など子どもたちが親しみやすい施設づくりとなっています。本格的な照明・音響設備を備えた児童劇場をはじめ、児童文化活動に携わっている市民や団体が自主的な活動をするための研修や会議の場、機材の提供をしています。

◆利用状況

年度	利用者数
29	51,486人
30	32,884人
元	32,889人
2	7,699人
3	7,763人



○玄海青年の家

主に青少年団体を対象とする宿泊施設です。寝食を共にする活動を通して、規律・協調・友愛・奉仕の精神と創造性を養い、次代を担う健全な青少年の育成を目指しています。



◎施設概要

施設概要

グリーンパークに隣接し、頓田貯水池湖畔に立地。キャンプ場を併設。講義、討議、スポーツ、ウォークライミング、レクリエーションなどのほか、自然を生かしたオリエンテーリング、ウォークラリー、プロジェクトアドベンチャー、野外炊飯、カヌーなど野外活動ができます。平成19年4月より指定管理者制度導入。

◆利用状況

年度	団体数	利用者数
29	1,153団体	37,465人
30	1,169団体	37,352人
元	631団体	22,146人
2	477団体	10,811人
3	652団体	13,403人

○足立青少年の家

都市近郊の自然を活かし、健全な青少年育成を目的とした施設です。

◎施設概要

施設概要

青少年、団体の指導者および社会教育関係団体などが利用できます。グループ利用が原則ですが、家族利用も可能です。自然を利用したキャンプやオリエンテーリング、レクリエーションの場として活用できます。

◆利用状況

年度	団体数	利用者数
29	121団体	2,601人
30	114団体	2,450人
元	109団体	2,405人
2	51団体	904人
3	74団体	1,992人

○少年自然の家

子どもたちが、大自然の中の集団生活・野外活動などの体験を通して、規律、協同、友愛、奉仕の尊さを学び、心身ともにたくましい少年を育てることを目的とした施設です。

◎施設概要

施設概要

もじ・かぐめよしの2つの少年自然の家があり、それぞれ、特色のある恵まれた自然環境の中に設置されています。平成17年度より、もじ少年自然の家、平成24年度より、かぐめよし少年自然の家に指定管理者制度を導入しました。

◆利用状況

年度	もじ		かぐめよし	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数
29	492団体	27,544人	393団体	12,223人
30	484団体	25,289人	365団体	9,721人
元	501団体	30,446人	375団体	8,173人
2	227団体	6,142人	288団体	5,881人
3	264団体	7,839人	294団体	5,838人

○青少年キャンプ場

次代を担う青少年が野外活動を通じて心身ともにたくましく鍛え、さらに健やかな精神を養い、明るく創造力豊かな人間性の育成を目指しています。

◆利用状況

年度	矢筈山（門司区）		足立（小倉北区）		堀越（小倉南区）	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数
29	90団体	1,701人	51団体	1,245人	193団体	3,344人
30	113団体	2,375人	55団体	1,336人	244団体	3,382人
元	106団体	2,824人	55団体	1,049人	252団体	2,801人
2	76団体	1,534人	238団体	1,611人	331団体	2,913人
3	74団体	1,455人	256団体	1,889人	306団体	2,784人
年度	しょうぶ谷（若松区）		帆柱（八幡東区）		金比羅（戸畑区）	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数
29	350団体	2,570人	97団体	719人	197団体	3,254人
30	455団体	2,777人	34団体	357人	232団体	3,748人
元	964団体	4,459人	74団体	639人	353団体	4,473人
2	1,100団体	3,363人	93団体	626人	444団体	2,683人
3	980団体	2,889人	44団体	264人	410団体	2,802人

※帆柱キャンプ場は令和3年8月より登山道不良のため休止中

○夜宮青少年センター

青少年に交流と研鑽の場を提供し、幅広い人間形成、学習活動の促進を図ることを目的とした非宿泊型の都市型青少年施設です。



◎施設概要

施設概要

施設の壁面に描かれているシンボルマークは「友愛と創造」。青少年グループ・サークルが自分たちのプログラムによって自主的な活動をしたり、集会や学習、討議、スポーツ、レクリエーションなどを行うなかで友情の輪を広げたり、豊かな創造性を身につけてもらうため施設や機材を提供しています。また、併せて指導・助言もしています。

◆利用状況

年度	利用者数
29	37,611人
30	38,858人
元	31,298人
2	10,744人
3	12,086人

○畑キャンプセンター

都市近郊の自然を活かし、健全な青少年育成を目的とした施設です。

◎施設概要

施設概要

バンガローやセンター棟などがあり、自然を利用した青少年グループのキャンプや、家族のレクリエーション、職場グループの研修の場として活用できます。

◆利用状況

年度	団体数	利用者数
29	167団体	2,917人
30	129団体	2,452人
元	87団体	2,662人
2	0団体	0人
3	5団体	68人

※令和2年度からイノシシ被害により一部施設は休場

○ユースステーション

中・高校生をはじめとした若者が、学習や体験、スポーツ・文化活動、仲間との交流等を通じて、自己を発見し、社会性や自立性を身につけることを目的とした施設です。

◎施設概要

施設概要

平成25年4月に黒崎のコムシティにオープンした施設で、平成28年度より指定管理者制度を導入しました。若者が放課後や休日に気軽に立ち寄って集えるフリースペース、学習スペースがあります。また、若者の多様なニーズに応えられるようスタジオ、多目的ホール、キッチン・ダイニング、工芸室、セミナールームを設置しています。主催事業や利用者である若者による自主企画事業も実施しています。

◆利用状況

年度	利用者数
29	35,317人
30	34,510人
元	29,425人
2	15,309人
3	17,922人



■青少年ボランティアステーション推進事業

〔青少年課〕

青少年ボランティアステーションにおいて、青少年の自己確立と「生きる力」をはぐくむため、ボランティア活動機会の創出や情報提供など、青少年がボランティア活動に参加しやすい仕組みづくりを行うとともに、リーダーの養成・登録を推進しています。

○設置場所：ウェルとばた3階

◆活動状況

年度	ボランティア体験者延べ人数
29	5,387人
30	7,116人
元	6,943人
2	2,329人
3	2,973人

■青少年施設ボランティアの養成

〔青少年課〕

青少年施設をボランティア活動の場として積極的に提供するとともに、ボランティアに関する研修等を行うことで、青少年の健全育成や社会参加等を支援しています。

◆施設ボランティア登録者数

年度	登録者数
29	261人
30	279人
元	288人
2	280人
3	217人



■チャレンジ100キロ～歩け北九州っ子若武者の旅～

〔青少年課〕

小学4年生から中学3年生までを対象に、各青少年施設を宿泊しながら、北九州市内の主要な山の登山を含め、4泊5日で約100キロを歩き、心身ともにたくましい子どもの育成を図っています。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

■北九州市・南九州市子ども交流事業

〔青少年課〕

北九州市と南九州市の子どもが、互いの市を訪問し、“ものづくりのまち”と“農業のまち”という、それぞれの特徴を生かし、両市の豊かな自然や歴史、産業の学びを通じた交流を行うことで、両市の交流と青少年の健全育成を図ります。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

■青少年育成団体の活動

〔青少年課〕

市内では、「子ども会」、「ボーイスカウト」、「ガールスカウト」、「海洋少年団」などの青少年育成団体が活動しており、それぞれの団体が、青少年健全育成のための各種行事を実施しています。

これらの青少年育成団体が定期的に集い、活性化に向けた取組みや、各種情報の共有等について検討するため、「青少年育成団体連絡会議」を設置しています。また、子ども会やボーイスカウト等の青少年育成団体等に所属する高校生・大学生等の青年リーダーが「青少年育成シニアリーダー会議『ぼんて』」を組織し、若者の視点で各団体の現状を見つめ直し、PR活動や団体間の交流促進、指導技術の提供等へ向けた検討を行い、青少年健全育成を目指した取組みを行っています。

■北九州市^{はたち}二十歳の記念式典〔青少年課〕

20歳に達した青年を祝い励ますとともに、大人としての自覚を促すため、市民・民間・行政が一体となって、二十歳の記念式典を実施しています。

◆参加状況

年	参加者数	対象者数
30	7,800人	9,496人
元	7,500人	9,770人
2	7,100人	9,576人
3	5,000人	9,847人
4	2,600人	9,572人

③児童文化科学館の移転新設（新科学館の整備）

〔科学館〕

「科学や技術への興味・関心を高め、北九州市の未来を担う人材を育むとともに、賑わいを創出する科学館」をテーマに、国内最大の竜巻発生装置や、国内最大級・最新鋭のプラネタリウムを有する体験・体感型の科学館スペースLABOを令和4年4月にオープンしました。

◆子どもの規範意識や自尊感情などの状況

①学校の決まりを守っている

年度	小学6年生		中学3年生	
	北九州市	全国	北九州市	全国
28	89.3%	91.5%	94.1%	94.7%
29	89.8%	92.6%	95.1%	95.2%
30	88.3%	89.5%	95.0%	95.1%
元	91.1%	92.3%	96.2%	96.2%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施
 ※令和3年度は全国学力・学習状況調査は実施されたが、本質問については、調査されていない

②自分にはよいところがある

年度	小学6年生		中学3年生	
	北九州市	全国	北九州市	全国
28	73.5%	76.3%	68.1%	69.3%
29	75.9%	77.9%	69.9%	70.7%
30	82.7%	84.0%	78.4%	78.8%
元	78.0%	81.2%	72.9%	74.1%
3	76.1%	76.9%	75.3%	76.2%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施

③将来の夢や目標を持っている

年度	小学6年生		中学3年生	
	北九州市	全国	北九州市	全国
28	85.7%	85.3%	69.5%	71.1%
29	86.5%	85.9%	70.6%	70.5%
30	86.5%	85.1%	70.8%	72.4%
元	85.7%	83.8%	71.0%	70.5%
3	80.5%	80.3%	67.6%	68.6%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施

④人の役に立つ人間になりたい

年度	小学6年生		中学3年生	
	北九州市	全国	北九州市	全国
28	93.3%	93.8%	92.5%	92.8%
29	91.1%	92.5%	91.5%	91.9%
30	94.7%	95.2%	94.4%	94.9%
元	94.4%	95.2%	94.5%	94.3%
3	95.4%	95.5%	95.3%	95.0%

資料：全国学力・学習状況調査

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施